

# 京阪沿線魅力再発見2025

# ぶらり街道めぐり

## ～祈りの路編～

地域資源を活かした来訪・交流の促進、文化・観光振興を目的として、「ぶらり街道めぐり～祈りの路編～」を開催します。地域の身近な歴史や文化に触れ、まちの奥深さを楽しみながら魅力を再発見してみましょう。

### 歴史講座

#### まさる けまり 神猿と蹴鞠 一日吉大社と平野神社

今回は近江の二つの神社を紹介します。大津市坂本に鎮座する日吉大社は山王信仰の総本社で、平安時代から巨大な宗教勢力でもありました。また大津市松本に鎮座する平野神社は東海道沿いにあり、平安時代中期の御神像(猿田彦命)を祀り、貴族にもてはやされた蹴鞠の資料を所蔵します。両神社の長年にわたる歴史や文化などさまざまな視点から、人々の「祈り」の姿を見てみましょう。

募集受付 京阪電車WEBサイト

締切:2025年2月7日(金)まで

2025年2月15日(土) 13:00～15:00 (12:30開場)

会場/枚方市総合文化芸術センター ひらしんイベントホール (枚方市駅下車 徒歩約5分)

講師/宇野 日出生 (小槻大社宮司) | 定員/150名 | 参加費/無料

主催:京阪ホールディングス(株) 共催:枚方市総合文化芸術センター指定管理者 アートシティひらかた共同事業体

#### 京街道から東海道へ 大坂・枚方から大津へ

京街道とは大坂から京都に向かう街道のことです。このたびの講座では、大坂・枚方から大津に至るまでの区間、すなわち東海道に連結した広域地域について概観したいと思います。江戸時代になると街道は整備され、人や物の流れが頻繁となりました。そこに生まれたさまざまな歴史や文化のかたちを紹介したいと思います。

募集受付 京阪電車WEBサイト

締切:2025年3月3日(月)まで

2025年3月9日(日) 13:00～15:00 (12:30開場)

会場/枚方市総合文化芸術センター 関西医大 小ホール (枚方市駅下車 徒歩約5分)

講師/宇野 日出生 (小槻大社宮司) | 定員/300名 | 参加費/無料

主催:京阪ホールディングス(株) 共催:枚方市総合文化芸術センター指定管理者 アートシティひらかた共同事業体

#### 枚方市総合文化芸術センター

2021年9月にオープンした、京阪電車枚方市駅からすぐの総合文化施設。年間を通して、クラシック、ジャズ、バレエ、ポップス、舞台、落語、など幅広く実施。劇場でしか味わえない臨場感、感動を是非。美術ギャラリー、芝生広場、カフェも併設。



#### ◆申込方法

京阪電車WEBサイト

二次元バーコードにアクセスしていただき必要事項をご記入の上、ご応募ください。

<https://www.keihan.co.jp/navi/burari/navi/form/>



[keihan.co.jp] [movabletype.net]ドメインのメールが必ず受信できるよう設定をお願いします。

※応募多数の場合は抽選になります。1度に2名まで申込可能。当選の方のみ、開催前約1週間を目途にメールを送信いたします。

歴史ガイドウォーク 歴史案内人による解説で、まちや文化に想いを馳せながら探訪します。

## 平野神社の至宝 —重要文化財の蹴鞠資料を観よう!—

滋賀県大津市松本に鎮座の平野神社は、蹴鞠の社として知られています。毎年8月9日の猛暑の中、境内で蹴鞠が盛大に執り行われます。江戸幕府から伝承教授を許された難波家の蹴鞠関係資料(重要文化財)が大量に保存されており、社務所にて特別見学をしつつ、平野神社の歴史や文化を感じてみたいと思います。



平野神社 本殿

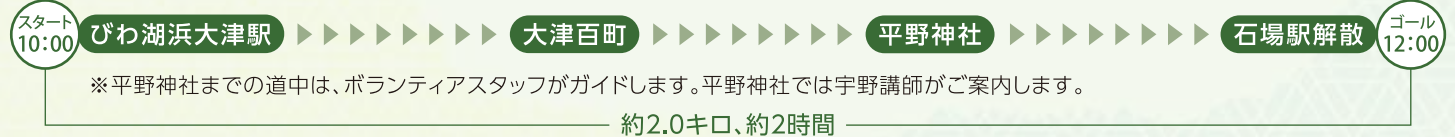
2025年3月21日(金) 10:00~12:00

募集受付 京阪電車WEBサイト  
締切:2025年3月10日(月)まで

集合場所/京阪電車 びわ湖浜大津駅 | 受付時間/9:50

講師/宇野日出生(小槻大社宮司) | 募集人数/20名 | 参加費/500円

主催:京阪ホールディングス(株) 後援:平野神社 協力:(公社)びわ湖大津観光協会



## 日吉大社の至宝 —重要文化財の七基の神輿を観よう!—

平安時代以降、たびたび強訴に用いられた日吉大社の神輿。現存する七基の神輿(重要文化財)は、織田信長の比叡山焼き討ち以後に再建されたもので、安土桃山~江戸時代初期の気風を現しています。それぞれに特徴ある七基の神輿を間近に特別見学し、併せて日吉大社の歴史や文化も紹介したいと思います。



日吉大社 西本宮本殿

2025年3月28日(金) 10:00~12:00

募集受付 京阪電車WEBサイト  
締切:2025年3月17日(月)まで

集合場所/京阪電車 坂本比叡山口駅

受付時間/9:50 | 講師/宇野日出生(小槻大社宮司) | 募集人数/20名 | 参加費/1,000円(入苑協賛料を含む)

主催:京阪ホールディングス(株) 後援:日吉大社 協力:(公社)びわ湖大津観光協会



宇野 日出生

小槻大社宮司、同志社大学・京都女子大学・京都橘大学講師、滋賀県文化財保護審議会委員、1955年滋賀県生まれ、國學院大學大学院日本史学専攻修了、2021年神道文化功労者表彰、40年近くにわたり京都市歴史資料館の研究職員として京都の歴史や文化に関わる調査研究に従事、主な著書に『八瀬童子歴史と文化』(思文閣出版・日本図書館協会選定図書)、『近江の神道文化』(サンライズ出版・神道文化賞)他多数

### ◆ 申込方法

京阪電車WEBサイト

二次元バーコードにアクセスしていただき必要事項をご記入の上、ご応募ください。

<https://www.keihan.co.jp/navi/burari/navi/form/>

[keihan.co.jp] [movabletype.net]ドメインのメールが必ず受信できるよう設定をお願いします。

※応募多数の場合は抽選になります。1度に2名まで申込可能。当選の方のみ、開催前約1週間を目途にメールを送信いたします。



### 『近江の神道文化(著者:宇野日出生)』

日本古来の神道や神道文化は、多様化する現代社会においても違和感なく、わたしたちの日常生活のなかに息づいています。「神道文化」を知ることには「日本人が歩んできた道」を知ることには他なりません。滋賀県内には祭祀祭礼や行事がたくさん残っています。それらを通して、人々の「祈り」や「切なる願い」を感じ取っていただければと思います。



サンライズ出版2020年

### 平安時代から伝わる春の伝統行事「日吉山王祭」

4月12日夜、神様の結婚を表す「午(うま)の神事」では、およそ360人の白装束の男たちが松明を片手に山を駆け上がります。神様に見立てた二基の神輿を担ぎ、「ヨイコラ」のかけ声をあげながら急な斜面を下りていきます。13日昼には、神様にお祝いの花を供える花渡り式、夜には神様から子どもが産まれる様子を表す神事「宵宮落とし神事」が行われます。14日、七基の神輿がびわ湖を船で渡る「船渡御」でクライマックスを迎えます。



写真提供:日吉大社